

矢部清流学園 学園だより

# 善遊善学

敬愛・・・人を大切にする子ども

克己・・・粘り強く取り組む子ども

創造・・・主体的に活動する子ども

令和2年度

12月7日

第22号

編集責任者 山口 浩史

## ホルンアンサンブルコンサートを行いました！

11月27日(金)に、第28回ふくおか県民文化祭2020の一環として福岡県が実施している「芸術体験講座」のホルンアンサンブルコンサートを行いました。

ホルンの原型となった約3mほどの長さのあるアルペンホルンなどのホルンの種類や歴史の説明を聞いたり、ホルンだけの4重奏で奏でられた曲を聴いたりしました。また、水道のホースで音を出したり、子どもたちにとって身近な楽器であるリコーダーや鍵盤ハーモニカとホルンが融合した演奏を聴かせてもらったりもしました。演奏者の中には、とても芸達者な方がおられ、口から紐が出てきたり、紙が食べられるうどんになったりする手品などを見せてもらい、子どもたちにとって充実した時間となりました。

演奏の最後には、子どもたちに人気の「鬼滅の刃」の主題歌「紅蓮華」を演奏され、喜んだ前期課程の子どもたちは自然とみんなで歌い出しました。

アンコールでは、矢部清流学園の校歌をS・N先生のピアノとホルンで合奏され、矢部清流学園の子どもたちと先生たちみんなで歌いました。

新型コロナ感染防止のため、準備していたホルンを吹く体験はできませんでしたが、本物のホルンの音色で、心温まる素敵な時間を過ごすことができました。



## 12月4日(金)～10日(木)は、人権週間です！

12月4日(金)の朝の活動の時間に人権週間に合わせて全児童生徒が木龍に集まり、人権集会を開きました。人権・同和教育担当のK先生から人権週間の意味を説明してもらった後、矢部清流学園の人権作文の代表に選ばれた、N・NさんとS・Jさんに人権作文の発表をしてもらいました。作文の内容は、自分の体験から自分の差別に関する課題に気づいたり、差別をなくそうとする強い意思を表現したりした素晴らしいものでした。Nさんの作文は、八女市内の小学校6年生の代表として広報八女の12月号にも掲載されています。また、人権週間期間中は、本校の清流会が取り組んだシトラスリボンプロジェクトの掲示も、おりなす八女で行われています。この機会に子どもたちと一緒に人権について考えてみませんか。





# 1年生が「あきらんど」に年長さんを招待しました！

12月4日(金)に、1年生が矢部保育園の年長さんを「あきらんど」に招待しました。「あきらんど」は、大杉自然塾の「秋見つけ」の授業などで集めた紅葉した葉っぱやドングリなどを使って1年生が教室に作り上げた遊園地です。ドングリのコマやマツボックリのけん玉、大きさや得点がいろいろ準備されたコップにクルミを投げ入れて得点を競う遊びや段ボールに秋の葉っぱやどんぐりを貼り付けるリースづくりなどのブースを作って、年長さんたちに遊んでもらいました。

1年生4人は、それぞれのブースで年長さんたちに優しく遊び方を教えることができていました。また、自分たちが作ったドングリのコマやマラカス、けん玉などをお土産にたくさん持ち帰ってもらいました。

来年度入学する後輩たちのお世話をする姿に、この8ヶ月でとても立派なお兄さんお姉さんに成長していると実感しました。年長のみなさん、安心して入学してください。優しく親切なお兄さんお姉さんたちが、みんなを待っていますよ。



# 資源回収へのご協力ありがとうございました！

12月6日(日)に2回目の資源回収を行いました。寒い中での作業開始となりましたが、朝から好天に恵まれ、順調に資源回収を行うことができました。

コロナ禍の影響からか古布の回収ができなかったり、アルミ缶や段ボールなどの買い取り価格が下がったりしているため、例年より最終的な金額が下がりますが、後期課程の子どもたちの3年に1回の芸術鑑賞や前期課程の子どもたちの2年に1回のスキー・スケート・雪遊び体験の資金として活用する予定です。

PTAの皆様、矢部地区の皆様、ご協力ありがとうございました。

